

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

東南アジアにおける イスラームの伝播と受容

Introduction and Spread of Islam in Southeast Asia

マレー半島や島嶼部において、イスラームは平和的に、そして徐々に受容された。その際重要だったのが、イスラームの名のもとに知識の獲得や正しい行いの重要性が説かれたことであり、また、商業的な要因であった。

本報告では東南アジアにおけるイスラームの伝播と受容の過程に着目し、そこにみられる変化や、時に起こった宗教理解をめぐるムスリム同士の衝突、20世紀初頭におけるマレー人のあいだでの改革運動やアラブ知識人の影響等について検討する。



- ◆ 日時： 2016年6月23日(木) 17:00-18:00
- ◆ 報告者： ターリグ・ムハンマド氏(ザイド大学 准教授)
- ◆ コメント： 長沢栄治氏(東京大学 東洋文化研究所 教授)
- ◆ 会場： 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は英語で行われます。



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

